

【質問】私の子どもは四月から中学生になります。中学一年生（十三歳）と高校三年生（十八歳）を対象に、はしかのワクチン接種が始まったようですが、一歳時にワクチンを接種していても、また受ける必要があるでしょうか。  
（40歳・主婦）

## はしか予防

【回答】一歳時に麻疹（ましん）はしか）ワクチンを接種済みなのに、またワクチンを受けなければいけないかとの質問ですが、ぜひ二回目の接種を受けられることをお勧めします。

日本では二〇〇六年四月から麻疹、風疹（ふうしん）混合ワクチン「MRワクチン」の二回接種が始まりました。I期は一歳、II期は



## 医療制度

が低下して、はしかに感染しやすくなっています。最近、はしかは幼児の病気でなく、若者の病気となっ

を対象として、五年間の期限内でMRワクチンの二回目の接種が始まりました。はしかを根絶するため、国は95%の接種率を目標に掲げています。先進国の中でいまだに、はしかが流行するのは日本だけなのです。

はしかは主に空気感染し、感染力の極めて強い病

# ぜひ2回目の接種を

小学校入学前一年間に受ける仕組みです。

しかし、それまではずっと一回接種だけで済ませて

きました。そのため、十代の子どもたちはワクチンを一回だけしか接種しておらず、中学生ごろから抗体量

ています。はしかの流行により多くの高校や大学が休校となったニュースは記憶に新しいところでは

〇八年四月から、十代の子どもたちのはしか感染を防ぐため、中学一年生（III期）と高校三年生（IV期）

気です。周りの人にはしかの免疫がない場合、一人の発症者から十二〜十四人が感染するとされ、インフルエンザの十倍に相当します。症状は高熱と風邪症状に始まり、二、三日後に発疹（ほっしん）が出現しま

## 日本からの根絶目指す

す。肺炎や脳炎などの重い病気を合併することがあり、かかるとはいけない病気の一つです。

特別な治療法はなく、個人のできる唯一、有効な予防法はワクチン接種により免疫をあらかじめ獲得しておくことです。I〜IV期のMRワクチンは定期予防接種なので、期限内であれば無料で受けられます。

〇九年十二月時点でのMRワクチンの全国接種率は、II期66%、III期66%、IV期58%と、国の目標は簡単に達成できそうにありません。日本からはしかを根絶するために、ぜひII期あるいはIII期、IV期のMRワクチンの追加接種を受けることをお勧めします。

（県医師会）